

コンポスト（土中の微生物の働きで生ごみを堆肥化するもの）

《処理手順》



庭や畑に、10～20cm程度の穴をほり、容器を設置する。
コンポストのまわりを土で覆う。

コンポストとは…

バケツを大きくしたような、プラスチック製の容器です。
容量が130ℓあり、大きさは、直径66.8cm 縦70.7cm
です。



大きな物は小さくし、よく水切りした生ごみを入れる。

乾燥した土や枯れ葉、枯れ草を生ごみが隠れるように被せる。
その後、虫が入らないようにきちんと蓋をする。



～ をくり返し、コンポストに8分目くらい溜まったら1ヶ月以上寝かせる。（発酵させるため）

1ヶ月以上経ったら、コンポストを取り外し、コンポストの中身を土と混ぜ、更に1ヶ月寝かせるると堆肥が出来上がる。

《処理のポイント》

- ・ 日当たり、水はけ、風通しのよいところにおくと良い。
- ・ 堆肥として熟成してくると色が黒くなってかび臭い臭いがする。強いアンモニア臭や、腐ったような臭いがする場合は、成熟が不十分。
- ・ ウジ虫などが発生した場合は、石灰を入れると効果がある。
- ・ 発酵促進剤を入れると臭いや虫が発生しづらくなる。

コンポストは、大きいから、家族が多くて生ごみがたくさん出る家庭にいいね。

堆肥もたくさんできるわね。



プラスチックやガラス、金属、ゴム、木などの腐らない物や貝殻、動物の骨は分解できないから、入れないように注意だね！